

下関市立大学大学院研究生規程

平成 19 年 4 月 1 日

規 程 第 6 8 号

改正 平成 24 年 1 月 31 日規程第 2 号
平成 27 年 2 月 26 日規程第 17 号

(趣旨)

第 1 条 この規程は、下関市立大学大学院学則（平成 19 年規則第 2 号）第 38 条の規定に基づき、研究生に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 研究生とは、下関市立大学（以下「本学」という。）の施設を利用して特定の研究に従事することを目的とする者をいう。

(研究生資格)

第 3 条 研究生として入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 4 年生大学を卒業し、又はこれと同等の学力があると認められた者で、卒業後一定の年限を経過し、かつ、一定年限の職歴を有していること。
- (4) 前号の資格を満たし、企業・官公庁及び友好交流協定校等から派遣される者にあつては、所属長の推薦を受けていること。ただし、この者にあつては、前号の卒業後及び職歴の年限に関する規定は適用しない。

2 前項第 3 号に規定する資格により出願しようとする者は、出願前の定められた日までに、資格審査を受けなければならない。

(志願の手續)

第 4 条 研究生として入学を志願する者は、別に定める日までに、本学大学院経済学研究科長（以下「研究科長」という。）を経て、次の書類を学長に提出しなければならない。ただし、本学大学院の修士課程を修了して引き続き研究生を志願する者は、第 1 号及び第 3 号の書類で足りるものとする。

- (1) 研究生入学願（様式第 1 号）
- (2) 履歴書（様式第 2 号）
- (3) 研究計画書（様式第 3 号）
- (4) 最終出身学校等の卒業（修了）証明書又は学位記証明書
- (5) その他学長が必要と認めるもの

2 研究生として入学を志願する外国人留学生は、前項に規定する書類のほか、次の書類を学長に提出しなければならない。

(1) 出願前3月以内の外国人登録原票記載事項証明書（外国人登録を済ませていない場合は旅券の写し）又は本国その他これに代わる公的機関により発行された本人の身分を証明する書面

(2) 日本留学試験等成績通知書

(3) 健康診断書

3 研究生として入学を志願する者は、別に定める期日までに必要書類を添えて入学検定料を納付しなければならない。

（選考）

第5条 研究生の選考の方法は、下関市立大学大学院経済学研究科委員会（以下「委員会」という。）の意見を聴いて学長が定める。

（研究期間）

第6条 研究生の研究期間は、1年以内とする。ただし、引き続き研究を希望する場合は改めて出願するものとする。

2 前項の期間の延長を受けようとする者は、研究生を指導する教員（以下「指導教員」という。）の承認を得て、研究期間延長願（別紙様式4）を、期間満了1月前までに研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 第1項に定める研究期間中に、病気その他やむを得ない事由で3ヶ月以上修学できない研究生に対し、本人の願い出により休学を許可することができる。

（研究の方法等）

第7条 研究科長は、委員会の意見を聴いて、指導教員を定めるものとする。

2 研究生は、本学の運営上支障のない範囲内において、研究に必要な施設及び設備を使用することができる。

（研究指導報告書の提出）

第8条 研究生の所定の研究指導が終了したときは、指導教員は研究指導報告書を研究科長に提出しなければならない。

（授業料等）

第9条 研究生は、公立大学法人下関市立大学授業料等徴収規程の定めるところにより入学金及び授業料を納めなければならない。

（研究許可の取消）

第10条 授業料の納入を怠り督促を受けた者が指定された期日までにこれを納入しないとき又は研究生として不適当と認められたときについては、学長は委員会の意見を聴いて、その者に対する研究許可を取り消すことができる。

（証明書の交付）

第11条 学長は、研究修了者に対し、当該研究事項についての証明書を交付することができる。

(その他)

第12条 この規程に定める日が休日若しくは土曜日又は日曜日の場合は、その直前の平日とする。

第13条 大学院研究生に関して、この規程に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年1月31日規程第2号)

この規程は、平成24年1月31日から施行する。

附 則 (平成27年2月26日規程第17号)

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

様式第1号

下関市立大学大学院経済学研究科研究生入学願

年 月 日

(あて先) 下関市立大学長

〒
現住所
Tel
フリガナ

氏名 印

年 月 日生

下記のとおり、研究のため大学院に研究生として入学を希望しておりますので、ご許可下さるようお願いいたします。

記

1. 研究題目

2. 研究指導教員

3. 研究期間 年 月 日より
年 月 日まで

以上

様式第3号

研究生研究計画書

年 月 日
下関市立大学大学院

フリガナ	
氏 名	
志望の動機	
研究（希望）課題	
研究計画の概要	

別紙様式4

下関市立大学大学院経済学研究科研究生研究期間延長願

年 月 日

(あて先) 下関市立大学長

〒
現住所
Tel
フリガナ

氏名 印

年 月 日生

下記のとおり、研究のため大学院に研究生としての研究期間の延長を希望しますので、ご許可くださるようお願いいたします。

記

1. 許可された研究期間 年 月 日より
年 月 日まで
2. 延長希望研究期間 年 月 日まで
3. 延長希望の理由

以上